

## 三原市民と市長の「みらいトーク」(第33回)実施結果

目的 市長が地域や団体の活動の場に出向き、市民との対話を通じて市政やまちづくりに対する積極的な意見や提案を広く聴き、今後の市政運営に活かすとともに、市民の市政への参画機会の拡充を図ること。

日時 令和6年2月22日(木) 18時00分から19時30分

場所 三原市役所 8階 801会議室

テーマ ・中心市街地活性化における現状の取り組みや課題について  
・各団体の連携によって稼いでいくためのアイデアについて

参加者 中心市街地関係団体(7名)

内容 各項目について市長が質問し、参加者から対話形式で意見を聴取。

### 1 自己紹介及び活動内容

#### 【参加者から】

- ・短期、中長期でできるもの、すぐに取りかかれる事を、いかにスピード感を持ってやれるかが重要である。  
財政的にも、無い物より、ある物を磨いていかないといけない。  
港湾エリアの整備が中長期的な事業として最も重要と考えている。  
商店街活性化の観点で言えば、マリンロードの活性化が重要であり、食をコンテンツとした活性化事業が必要。
- ・まちづくり会社の役割として、活性化事業を担える人づくりが重要であり、移住施策において動ける人材を発掘し、育成していきたい。
- ・首都圏で開催される展示会等では5~7万人の来場があり、三原市においてもこのような取り組みがあれば、市外・県外から人が訪れ、賑わいや商売も潤うのではないかと。
- ・宿泊客の現状は、ビジネス客が主で、観光客はほとんど望めない状況。  
尾道市市等の近隣市とタッグを組み、食を通して発信していくなどの取り組みが必要。  
年間の祭りやスポーツの全国大会等で市外から人を呼び込む取り組みが必要。
- ・港湾施設整備は重要なポイントであり、三原をPRできる絵や写真等を掲示(デジタルサイネージ)するなどの取り組みが必要。  
国道沿いに三原城跡を案内できるものがあれば、立ち寄る人もでてくるのではないかと。
- ・食を扱う店舗としては、食を通して三原をPRできる取り組みを考えていきたい。
- ・円一、宮浦、城町周辺の商業施設で客の奪い合いとなっている。  
各施設によって提供の時間等、戦略が必要。

### 2 次のテーマにおける参加者との意見交換の概要

見出しのテーマに基づき、「人が来てお金を落としてもらう仕組み」について

### 【参加者から】

- ・Wi-Fi 環境、JR 三原駅構内等への無料の携帯充電器の設置など、人が滞留できる空間が欲しい。
- ・商店街通りを歩行者専用道路として活用し、食べ歩きができる環境があれば良い。
- ・ベンチ等の設置により、滞留人口を増やす取り組みも良い。
- ・三原をPRできるテイクアウト品が必要。テイクアウト品が無ければベンチがあっても意味が無い。これらを求めて来る集客効果は大きい。
- ・タコ料理が食べられる街としてもっとPRすべき。
- ・メディアの影響は大きいので、もっと有効的に活用すべき。  
行列ができるお店に来た顧客が、周辺店舗で購入する良い流れがもっとできれば良い。  
メディアの活用はSNS、テレビ双方を活用するのが効果的である。
- ・既存のイベント（半どん夜市等）に移住者とのマッチングの場を提供するなど、プラスアルファを行うことで相乗効果を高めることも必要。
- ・イベントに関して言えば、従事する人も高齢化しており、世代交代が必要。一方で、イベントを企画したい人も増えてきている。
- ・はしご酒は、事務局における労力が大きく課題となっている。  
市、商工会議所、料飲組合等の連合体で企画・実施できる体制が必要。
- ・マリンロードでの駐停車、ゴミの対応など、イベント時における諸問題の解決が必要。
- ・駐車場や、喫煙場所の指定方法等、人が来やすい、寄ってみたいと思われる環境が必要。
- ・ヨットハーバーなど、港を活用した施策により外から人が来る仕掛けをつくり、地元食材をアピールするなど、地産地消、商業の活性化に繋げる施策が必要。

### 3 市長まとめ

- ・既存のイベントを持続可能、発展させるため、他のコンテンツをプラスアルファで掛け合わせ、魅力を高めていくことが必要。また、今ある物をどのようにブラッシュアップしていくかという事も大事な視点である。
- ・イベントの担い手の高齢化等により、手伝いたい人に入ってもらい担い手となってもらう仕組みが必要。
- ・テイクアウト品等を食べながら、ゆっくりできる場所づくりについては、駅前広場等の活用も含めて研究していきたい。
- ・食で三原を盛り上げる仕組みをつくり、情報発信、PRにより、外から人を呼び込む取り組みを実施していきたい。
- ・Wi-Fi や携帯充電器の設置による滞留人口等について、まずは既存で設置されている民間施設での検証等を踏まえた上で、効果的な取り組みを検討していく必要がある。
- ・発信力を高めていくためには、各団体が連携し取り組んでいくことが効果的であり、今後、関係団体と一緒に考えていきたい。